

今月の行き先は？

Android

過去

携帯電話向け

未来

組み込み機器向け

右も左もAndroidが流行している。Androidスマートフォンを身近に感じる読者も多いだろう。今回は、Androidの正体と組み込みにどう関係するかをBOSSにしっかり教えてもらおう。

(編集部)

ゆかり：最近では携帯向け以外にもAndroidの話がよく出ますね。

BOSS：今が旬だからねえ。いろいろなCPUも対応しはじめているし。

ゆかり：よく分からないんですが、Androidって何なんですか？

BOSS：何といわれても困るのだけど、何が聞きたい？

ゆかり：ベースはLinuxですよ？

BOSS：そう。

ゆかり：んじゃ、いわゆる組み込みLinuxと何が違うんです？

BOSS：そういういい方をするとあまり違いはないね。まあNative Codeを実行するか、Dalvikで動作させるかという違いはあるけど、それも全部ではないな。

ゆかり：だとすると、組み込みLinuxでもいいですよ？

BOSS：アプリケーションによってはそういう選択もあるだろうね。

ゆかり：え、じゃなんでAndroid使うんですか？

BOSS：(最初からそう聞けよ…)



1. 市場に浸透しつつあるAndroid

Androidとは、もともと2003年に米国で設立されたAndroid社というベンチャ企業が開発していた、モバイル機器向けのOSです。このAndroid社をGoogle社が2005年に買収します。Google社は2007年にOHA (Open Handset Alliance) という団体を設立し、ここに多くの携帯電話ベンダが参画しました。このOHAは2007年に、携帯電話向けのOSとしてAndroidを提供することを発表し、2008年にはAndroid 1.0を搭載した携帯電話が世の中に登場しました。ここからのAndroid OSの躍進は、読者の方もご存知でしょう。

Androidは、おおまかにいえば半年に1回の割合でバージョンアップが進んでおり、表1のようにどんどん新バージョンが登場しています。ちなみにこれはおおまかなバージョン一覧です。実際には例えばVersion 3.0と4.0の間に3.1/3.2/3.2.1/3.2.2が挟まったりしてるのですが、とりあえずそうした話は置いておきます。実のところバージョンが上が

表1 Androidのバージョン一覧

バージョン	愛称	発表年月
1.0	—	2008年 9月
1.1	—	2009年 2月
1.5	Cupcake	2009年 4月
1.6	Donut	2009年 9月
2.0	Eclair	2009年 2月
2.2	Froyo	2010年 5月
2.3	Gingerbread	2010年12月
3.0	Honeycomb	2011年 2月
4.0	Ice Cream Sandwich	2011年10月
?	Jelly Bean	?年?月